

令和7年度第1回 浦安市児童センター運営懇談会議事録

1. 開催日時 令和7年7月24日(木) 午後6時～7時
2. 開催場所 東野児童センター 遊戯室
3. 出席者 委員 9名
瀬尾委員(会長)、池島委員、岡委員、酒匂委員、古市委員、小神委員、坂本委員、山田委員、小池委員
欠席者3名(牧口委員、濱口委員、三上委員)
事務局 7名
健康こども部長、健康こども部次長、東野(高洲)児童センター所長
東野、高洲児童センター職員

4. 議事

- (1) 令和6年度 事業報告
- (2) 令和7年度 事業計画
- (3) その他

5. 会議経過

○ 開式 事務局より

本日は委員 12名のうち、9名が出席。設置要綱第7条第2項により会議は成立する。

○ 自己紹介

○ 会長挨拶

○ 当懇談会の傍聴希望者 1名

(1) 令和6年度 事業報告について

○ 東野児童センター

・ 健全育成事業について

例年行っている県民の日まつりは三社祭りと日程が重なったため、開催を見送った。

シルバー職員主催で、お楽しみ工作をほぼ毎日行った。

・ 子育て支援事業について

赤ちゃんサロン、よちよちタイムを中心に事業を展開し、親子の友達作りや交流の場としてご参加いただいた。

・ 地域貢献事業について

親子の広場ほこほこに当館のえくぼルームで活動いただいたり、おもちゃの病院、ボラティアや団体利用の受け入れなどを行った。

○高洲児童センター

・健全育成事業について

全館イベントでは夏祭り、春祭り、県民の日まつりを開催し、いつもとは違う遊びをお祭りを通して行った。体力増進事業では、運動室で遊ぼうなどを行い、他の友達と関わりながら体を動かした。公民館共催事業では、卓球大会を卓球サークルと合同で行った。工作週間では月に4回工作をした。月により工作の内容が変わるので、楽しみにしている子は多い。電車遊びを金曜日、土曜日に行った。キッズスタッフの活動では、主にお祭りの準備を行った。

・子育て支援事業について

赤ちゃんサロン、プレスクールにこにこ、親子リトミックなど、親子や親子同士で楽しく過ごせる場を提供した。活動の中で助産師、保健師、栄養士、歯科衛生士から保護者に向けてアドバイスする時間を設けた。

ハワイアンリトミック、リフレッシュヨガ、セルフケア教室など、セルフケアの方法を知り、リラックスできる活動を行った。

・地域貢献事業について

こんぺいとうサロン、高洲小学校児童育成クラブの方の利用、子育て応援メッセの参加があり、新たに児童センターを知っていただく機会となった。

(2) 令和7年度事業計画について

○東野児童センター事業計画

お試し1日限りのボードゲーム部やイラストセミナーを7・8月に予定。子育て支援事業では赤ちゃんサロン、よちよちタイム、わくわくクラブ、フルーツキャンディーなどを定期開催する。定期開催の他に運動遊び、ダンスレッスン、ひよこタイム、ドーナツタイムを予定。

・こどもの日まつりについて

キッズスタッフはスーパーボールすくいの運営を行った。かさぶくろロケット、バルーンアート、ネームプレート作り、電車遊びなどのコーナーを設けた。

・土曜日の赤ちゃんサロンについて

前半にふれあいタイム、最後に自己紹介タイムを設けている。土曜日に開催することで、親子一緒に安全でほのぼのと遊べる場、子育て情報の交換の場、保護者同士の友達づくりの場としてご利用いただいている。

○高洲児童センター事業計画

・県民の日まつりについて

来館者は172人と賑わいを見せた。チーバくんを折ろうでは大きな折り紙を2枚使って、チーバくんを折った。紙コップタワーでは、何度も積み上げることで感覚を掴み、壁

を使って大人の高さまで積み上げる工夫を見せてくれた子もいた。千葉県ご当地クイズラリーでは、意外と知らない千葉県にちなんだクイズに、頭を悩ませながらも楽しんでいく様子だった。チーバくんと写真を撮ろうでは、高洲公民館のエントランスを借りてチーバくんととの写真撮影を行った。

・親子リトミックについて

家庭で子育てしているお母さんや子どもたちのために、保育園や幼稚園と同じような経験ができるよう開催している。楽しく音楽と触れ合いながら、基礎的な音楽能力を伸ばし、子供たちが個々に持っている潜在的基礎能力の発達を促す。

◎質疑応答

会長：事業報告および事業計画について質問はないか。

委員：紙コップタワーの紙コップは再利用しているのか。

事務局：紙コップは基本的に遊びの際に使っているため、再利用しているものである。

委員：両センターとも心に届く活動をしてくださっている。子育て世代の親御さんが苦しい状態にある中、繋がりをつくることを意識した児童センターの活動は良いと思った。

会長：LINEを交換する様子は見られるのか。

事務局：事業への参加をきっかけに仲良くなる方は多く、LINEを交換する方もいた。

委員：赤ちゃんサロンを土曜日に開催していることに感激した。土曜日ならパパも参加でき、上の子と下の子を連れて遊びに行けて、繋がりが増えるのは良いと思った。

委員：土曜日の開催があったらいいなと思っていた。ママ友やパパ友ができることは本当に良いことだと思うので感謝している。

委員：登録制と予約制の違いは何か。工作で夏休みの宿題も作れるのか。

事務局：登録制では、同じメンバーで活動しながらその中で友達づくりをしている。予約制では、内容によって抽選を行い、1回限りにはなるが普段来られない方でも参加いただける。東野児童センターでは、夏休みの宿題の手助けとして絵の宿題お助け隊を毎年開催している。高洲児童センターで作ることができる工作も、物にあえば学校の宿題の手助けになると考える。

委員：東野児童センターの利用者別状況を見ると、前年度と比べ利用者数に大きく差がある学年があるがなぜか。

事務局：学年ごとに大きく増減があるのは、常連となっている学年がスライドしているから。利用者が減っているのは、子どもたちが新しい居場所（青少年館など）を見つけていることが起因しているかもしれない。

委員：高洲児童センターのかえるの作り物が本当にかわいい。東野児童センターのかさぶくろロケットもとても良いアイデアだった。高洲児童センターが勉強する高校生たちの息抜きになっていて良いと思う。今後も張り紙を続けてほしい。

委員：土曜日の赤ちゃんサロンで、最後に自己紹介をしている点が良いと思った。心がほぐれてから自身のこともお子さんのことも話ることができる。千葉県ご当地クイズラリーでは、コミュニケーションを取りながら答えを出すということを遊びの中ででき、良い時間だと感じた。

会長：千葉県のことをクイズにしているのが良いと感じた。他県から浦安に来られる方も多く、千葉県のことをご存じない方も多いと思う。さらに浦安市のことも取り入れていただけるとありがたい。

議事終了

(3) その他

事務局：以上をもって、閉会する。

○閉会